



▲さつまいもの館正面玄関

いもの復権をめざす 「さつまいもの館」



さつまいもの館情報調査員
鹿児島県農政部流通園芸課

柳 員 幸

1. はじめに

鹿児島県は、日本におけるさつまいも発祥の地です。さつまいもは火山灰土壌にも適応し、台風・干害等の災害にも強い作物として県内全域に栽培されています。

現在その作付面積は全国の3分の1、生産量では4割を占めて全国一の産地になっており、名実共に本県の特産物として位置づけられています。

鹿児島県では、さつまいもを見直してもらおうと復権運動をすすめており、運動の拠点となる「さつまいもの館」が平成5年3月14日に鹿児島市の天文館の一角にオープンして営業しているので紹介します。

2. さつまいもの館の運営

この施設は、県内のさつまいもに関連する企業49社・団体で組織された「さつまいも産業振興協同組合」が事業主体となって管理運営されており、鹿児島の特産物である「さつまいも」のイメージアップ、消費拡大を図るとともに、いもの文化や情報を全国に向けて発信するのがねらいであり、さつまいもに関

する質問を受けるコーナーのほか、いもの加工食品の品揃えも全国一という規模でスタートしています。

さつまいもの館は、情報コーナー、展示販売コーナー、実演販売コーナーの三部門に分かれています。

(1) 情報コーナーでは、さつまいもの伝来、品種、栄養成分、生産の推移などの情報について、リーフレット等も作成して提供しています。

(2) 展示販売コーナーでは、さつまいもはもちろん、いも飴、焼菓子、カリントウ、いもコンニャク、めん類、さつまあげ、焼酎など、古くからあるさつまいもの加工品の販売をはじめ、新たに開発されたさつまいものアイスクリームやパンなども販売しています。

又、年1回さつまいも食品コンクールを開催し、新製品を開発するとともに入賞作品を展示販売しています。

館内には、さつまいもの加工食品だけで450種類の製品が展示販売されており、全国一の品揃えとなっています。

(3) 実演販売コーナーでは、さつまいもの

きんつば、さつまあげなどの実演販売が行われており、手際の良い職人芸が見学出来ます。

3. 館のシンボル

館の中央部に設置されている幅1メートル、厚さ5センチメートル、長さ19メートルの黒御影石は、さつまいもの館のシンボル「生成」です。

彫刻家速水史郎先生による作品で、次のようなテーマで構成されています。

(1) アプローチの場

地中から芽を出したさつまいもが躍動の時を刻んで行きます。

(2) 販売展示の場

芽を出したさつまいもは花を咲かせ旬の時に謳歌します。

(3) 交流の場

実をつけ、さまざまな製品となって、さつまいもは文化を形成して行きます。

〔館〕に集う生産者、加工流通業者、消費者が自由に語り合えるコミュニケーション



さつまいも品種の展示販売

ンスペースが設けられています。

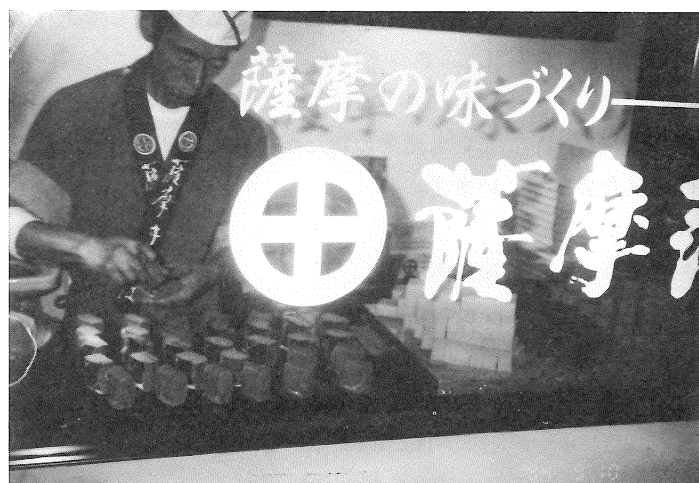
4. 来館者の動向

テレビ、ラジオや新聞、雑誌等の多くのマスコミに取り上げられ全国に紹介されたこともあり、観光団体や修学旅行客など去年の10月頃から県外客が目立ち始め、北は北海道から南は沖縄まで入館者の3分の1は県外客で占められています。

開館以来予想をはるかに上回る来館者で、平成5年7月には来館者10万人突破のイベントを開催し、本年6月末現在で265,644人来館し利用されています。

とくに来館者の中には若い女性が多く、そのパートナーとしての若い男性も訪れており、さつまいもに対する関心は高いようです。

又、各種団体の視察研修も多く、さつまいもに関するパネル、リーフレット、料理カード、現物(いも)、大型機械化栽培体系の模型展示等を活用して、農村の生活改善グループ、婦人団



▲きんつばの実演販売

〔さつまいもの栄養価〕

さつまいもは、アルカリ食品で、ビタミンA、C、Eに富んでいます。また他の栄養成分も微量ながら、まんべんなく含み、食物繊維はいも類の中で一番多く含まれています。

天然の繊維食品さつまいもを大いに食べましょう。

ビ タ ミ ン	A(カロチン) μ g	B ₁ mg	B ₂ mg	C mg	E μ g	繊維 g
さつまいも	10	0.10	0.05	30	*2,370	0.7
** (ベニハヤト)	11,900			28		
ジャガイモ	微	0.11	0.03	26	30	0.4
ニンジ ン	7,300	0.07	0.05	6	70	1.0

四訂 食品成分表より

* 平原・小池(国立栄養研)栄養学会講演要旨より1986

さつまいも100g中の含有量

**鹿児島県農試 流通と利用に関する試験成績書より1985

体、農業者グループをはじめ農村指導者、村づくりリーダー、青年団、商工会等の視察研修の定期コースや観光コースとして利用されています。

その外に休日等を利用して小中高の学生が、さつまいもに関する歴史や、利用方法等学習の場として来館しており、若年層にも関心が高くなってきています。

5. IMO倶楽部の結成

「さつまいも」を通じて、お互いの親睦やさつまいも文化の発展、地域の振興などに貢献することをねらいにして、「IMO倶楽部」を平成5年10月に結成して活動しています。

主な活動として、さつまいも情報の提供、珍しい品種・いも(苗)の優先特別頒布、「こだわり焼酎」の限定頒布、新商品試食会への特別招待、観光農園の案内紹介、さつまいも料理の紹介、「館」お買物スタンプカードの発行等を実施しています。

会員は、全国各地から参加していただき現在で413名入会しております。

5. おわりに

さつまいもの館が開館して1年5ヶ月を経過しましたが予想以上に反響があり、全国各地をはじめ外国からも来館者があります。

さつまいもは、食物繊維が豊富で低カロリー、その上タンパク質や澱粉の他、ミネラル、カロチン、ビタミン類をバランスよく含む

準完全食品として見直されてきています。

又、宇宙食としても有望であるとのこと、アメリカのNASAでも研究がなされるなど色々な分野で見直されて来ているし、県内各地においてもさつまいもに関するイベント等を開催してさつまいもに対する関心が高まってきています。

さつまいもは、鹿児島県の畑作農業にとってなくてはならない作物であり、新品種の開発、機械化の導入、加工方法の研究・開発等により生産性の向上はもちろん、健康食品としての消費拡大を図るとともに、さつまいもを素材にした多様な新商品を開発して売り出し、「さつまいもの館」を核として全国に向けた「さつまいも」の情報発信に努め、さつまいも産業の新たな発展に向けて取り組んでいます。

※参考資料

さつまいもの館

〒892

住所 鹿児島市東千石町6-28

TEL 0992-39-4865

FAX 0992-39-4862